



【名古屋学院大学・国際連合地域開発センター共催】

## 国連と地域の連携に関するシンポジウム開催。

～持続可能な開発目標(SDGs)実現に向けて～

名古屋学院大学国際文化学部では、2030年の実現に向けた「持続可能な開発目標(SDGs)」が国際連合主導で2016年より開始されることに合わせ、新たなパートナーシップ形成のために不可欠な市民意識の向上を目的として6月4日(土)13:30~17:00、名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎クラインホールにてシンポジウムを開催いたします。一般の方も入場無料でご参加いただけます。

### 【開催趣旨】

このシンポジウムでは「社会開発援助」と「ユネスコなどが支援する文化協力」を中心に、国連、大学、市民社会、ODA団体、地方企業間での新たな連携・協力についての議論を行います。とりわけ大学に課せられた途上国への開発支援や文化交流に関する研究、教育、人材育成、広報という役割の未来志向的な展開について具体的に検討したいと考えています。

### 【プログラム】

- ・開会挨拶 名古屋学院大学 学長 木船 久雄／国際連合地域開発センター所長 高瀬千賀子／前(第8代)ユネスコ事務局長 松浦晃一郎(代読)
- ・基調講演 「国連の役割」  
(前)国際労働機関(ILO)事務局長補・アジア太平洋総局長(現)上智大学特任教授 浦元 義照
- ・パネル1 「国連諸機関の開発分野における活動とSDGsの実現に向けて」  
14:10-14:50【パネリスト】(前)国際労働機関(ILO)事務局長補・アジア太平洋総局長(現)上智大学特任教授 浦元 義照／国連地域開発センター所長 高瀬千賀子／国連地域開発センター環境プログラムコーディネーター チャウダリー・ルドラ・チャラン・モハンティ／【指定討論者】ウェスタン・オンタリオ大学(カナダ)准教授 Wei-Wei Da 博士【モデレーター】木村 光伸【通訳】長田こずえ
- ・パネル2 「身近な国連：国連の教育・自然科学・文化分野における活動とアカデミック機関との連携」  
14:50-15:20【パネリスト】名古屋学院大学国際文化学部長 木村 光伸／(前)ユネスコ パキスタン事務所長(現)名古屋学院大学国際文化学部教授 長田 こずえ【モデレーター】高瀬 千賀子
- ・パネル3 「国連で働くことの意義：現場に必要な人材育成とは」  
15:35-16:05【パネリスト】元国連開発計画ブータン、パキスタン、フィリピン事務所長 田中 敏裕／(前)国際労働機関(ILO)事務局長補・アジア太平洋総局長(現)上智大学特任教授 浦元 義照／【指定討論者】名古屋学院大学国際文化学部教授 増田あゆみ【モデレーター】長田 こずえ
- ・パネル4 「国連と名古屋の地元民間団体との連携」  
16:05-16:45【パネリスト】NGO アジア保健研究所 AHI 代表／民間企業団体代表(予定)／国連地域開発センター研究員 浦上 奈々【モデレーター】名古屋学院大学国際文化学部講師 佐伯 奈津子

### <国連と地域の連携に関するシンポジウム>

■日時:6月4日(土) 13:30~17:00 (開場 13:00)

■会場:名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎 翼館4階「クラインホール」

※地下鉄名港線「日比野」駅・地下鉄名城線「西高蔵」駅 徒歩約8分 駐車場はありません。

■定員:一般来場者先着 100名程度(入場無料・申込不要)

■共催:名古屋学院大学・国際連合地域開発センター